



神海丸通信（多目的航海）

R4.5.20
文責：高橋

5月15日、神海丸が西郷港へと入港し、隠岐水産高校の専攻科生22名が乗船しました。1年生は久々の乗船で慣れてはいないところですが、生徒は緊張しながらも実習に向けてとても前向きに取り組んでいます。西郷停泊中には進路ガイダンスや避難訓練なども実施しています。



5月17日、8時に浜田に向けて出港しました。天気も良く、凧の中を航海することができました。当然船酔いなどする生徒はおりません。出港後には、デッキ洗いを実施しました。浜田までは隠岐水産の専攻科生しかいないので当直や食当も大変ですが、協力しながら頑張っています。



同日、17時に浜田港へ入港しました。浜田水産高校の専攻科生20名が乗船し、これで42名全員がそろいました。船内生活では、専攻1年生は当直や作業など船の実習についてしっかりと再勉強します。2年生は1年生に教えることや、海技試験に向けた資格勉強をしています。



5月18日、13時から食糧積み込みです。大量の食材を船内の冷凍庫に保存します。生徒たちは一列になり、バケツリレーの要領で積み込みます。



5月19日、8時30分から1等航海士と1等機関士による安全講話、その後救命設備の説明を受けました。船内においては、常日頃から安全に努めること、また、いざという時のために救命設備についても知っておく必要があります。生徒たちは船員としての心構えや知識を学びます。



5月20日、10時に浦郷湾を目指し出港いたしました。この日も海況がよく、航海日和でした。乗船してからは健康状態の経過観察のため、浜田や隠岐の島周辺で航海実習を行います。

